



2025年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2025年5月13日

上場会社名 株式会社 大真空

上場取引所 東

コード番号 6962 URL <https://www.kds.info>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯塚 実

問合せ先責任者 (役職名) 上級執行役員 経営企画室 室長 (氏名) 川島 大空

TEL 079-426-3211

定時株主総会開催予定日 2025年6月27日

配当支払開始予定日

2025年6月30日

有価証券報告書提出予定日 2025年6月26日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期の連結業績(2024年4月1日～2025年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	38,620	1.8	915	57.1	412	87.1	285	84.8
2024年3月期	39,343	2.4	2,135	49.3	3,192	37.5	1,876	41.5

(注) 包括利益 2025年3月期 147百万円 (%) 2024年3月期 5,068百万円 (26.0%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	8.87		0.8	0.5	2.4
2024年3月期	58.12		5.0	3.7	5.4

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 百万円 2024年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	89,890	45,219	41.2	1,166.11
2024年3月期	91,064	47,048	42.5	1,199.24

(参考) 自己資本 2025年3月期 37,054百万円 2024年3月期 38,708百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	2,296	6,307	1,708	18,502
2024年3月期	8,243	3,994	1,104	24,355

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期		14.00		14.00	28.00	903	48.2	2.4
2025年3月期		14.00		14.00	28.00	903	315.7	2.4
2026年3月期(予想)		14.00		14.00	28.00		178.0	

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,000	6.2	2,000	118.6	1,000	142.4	500	75.1	15.73

注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料13ページ「3.連結財務諸表及び主な注記(5)連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期	32,138,881 株	2024年3月期	36,196,968 株
期末自己株式数	2025年3月期	362,270 株	2024年3月期	3,919,393 株
期中平均株式数	2025年3月期	32,208,555 株	2024年3月期	32,278,103 株

(参考)個別業績の概要

2025年3月期の個別業績(2024年4月1日～2025年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	29,459	0.8	845		757		209	76.0
2024年3月期	29,227	4.6	130	95.3	1,144	72.1	873	71.5

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期	6.50	
2024年3月期	27.06	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2025年3月期	65,025		31,714		48.8		998.06	
2024年3月期	64,176		33,106		51.6		1,025.68	

(参考) 自己資本 2025年3月期 31,714百万円 2024年3月期 33,106百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

2025年5月28日開催予定の決算説明会後、当社ホームページに記載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計方針の変更に関する注記)	13
(セグメント情報等の注記)	13
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結累計期間（2024年4月1日～2025年3月31日）における世界経済は、個人消費の回復は限定的で、景気回復のペースは総じて鈍化傾向となりました。設備投資は地域ごとに温度差が見られ、地政学リスクも依然として高く、先行き不透明な状況が継続する中、2025年1月以降は米国の関税政策により、各国でインフレ圧力が再び高まりました。

このような環境の中、民生分野がPC向けやウェアラブル向けを中心に回復基調となり、車載分野も堅調に推移しました。一方、通信分野は中国スマホ市場にて使用される5G用チップセットの変化により価格競争が激化、産業分野は設備投資の低迷による調整が継続したことなどから、売上高は38,620百万円（前年同期比1.8%減）となりました。利益面につきましては、本社移転に伴い販管費が増加したことなどから営業利益は915百万円（前年同期比57.1%減）となりました。また、経常利益は412百万円（前年同期比87.1%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は285百万円（前年同期比84.8%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次の通りであります。

①日本

日本国内におきましては、産業、民生向けなどの販売が減少し、売上高は6,971百万円と前期に比べ810百万円（10.4%減）の減収となりました。減収に加え、本社移管経費ほか販管費が増加したことなどにより、セグメント損失（営業損失）は842百万円と前期に比べ959百万円（前期はセグメント利益116百万円）の減益となりました。

②北米

北米におきましては、車載向けなどの販売が増加し、売上高は2,450百万円と前期に比べ45百万円（1.9%増）の増収となり、セグメント利益（営業利益）は38百万円と前期に比べ21百万円（129.6%増）の増益となりました。

③欧州

欧州におきましては、車載向けなどの販売が増加し、売上高は3,899百万円と前期に比べ66百万円（1.7%増）の増収となり、セグメント利益（営業利益）は31百万円と前期に比べ10百万円（51.5%増）の増益となりました。

④中国

中国におきましては、民生向けなどの販売が増加し、売上高は12,652百万円と前期に比べ351百万円（2.9%増）の増収となり、セグメント利益（営業利益）は9百万円と前期に比べ64百万円（前期はセグメント損失55百万円）の改善となりました。

⑤台湾

台湾におきましては、通信向けなどが前年を下回り、売上高は9,786百万円と前期に比べ555百万円（5.4%減）の減収となりましたが、高付加価値製品の増産などによりセグメント利益（営業利益）は1,559百万円と前期に比べ473百万円（43.6%増）の増益となりました。

⑥アジア

その他アジアにおきましては通信や民生向けなどの販売が増加し、売上高は2,860百万円と前期に比べ180百万円（6.7%増）の増収となりましたが、製品ミックスが悪化したことなどによりセグメント利益（営業利益）は85百万円と前期に比べ408百万円（82.7%減）の減益となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における資産は89,890百万円であり、前連結会計年度末と比較して1,173百万円減少しております。これは主に現金及び預金の減少などによるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における負債は44,670百万円であり、前連結会計年度末と比較して654百万円増加しております。これは主に支払手形及び買掛金の増加などによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は45,219百万円であり、前連結会計年度末と比較して1,828百万円減少しております。これは主に資本剰余金及び利益剰余金の減少などによるものであります。

これらにより自己資本比率は1.3ポイント減少して、41.2%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計期間の連結キャッシュ・フローの状況は、それぞれ次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は2,296百万円となりました。これは主に税金等調整前当期純利益などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は6,307百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1,708百万円となりました。これは主に長期借入金の返済による支出などによるものであります。

これらの結果、当連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は前連結会計期間末に比べ5,852百万円減少し、当連結会計期間末には18,502百万円となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
自己資本比率	40.6 %	40.7 %	42.9 %	42.5 %	41.2 %
時価ベースの 自己資本比率	29.1 %	48.0 %	28.1 %	28.4 %	19.9 %
キャッシュ・フロー 対 有利子負債比率	9.7 年	3.2 年	5.3 年	4.1 年	14.7 年
インタレスト・カバ レッジ・レシオ	23.7	66.7	28.0	28.0	7.3

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

※ いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

※ 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

※ キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

※ 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

今後の経済環境におきましては、米国の関税政策に対する各国の対応やインフレ動向、地政学リスクなどにより、景気の先行きは不透明な状況が続いています。

一方、水晶デバイス市場においては、デジタル化の進展に必要な半導体需要に牽引され、更なる成長が見込まれます。特に中長期的な視点では、自動運転システムやAIデータセンター、GPS/GNSSモジュール、衛星通信などの市場が拡大する見込みです。自動運転の進化により車両の「スマホ化」が進行し、ソフトウェアアップデートや冗長設計、ADAS（先進運転支援システム）や電装化のさらなる進展により水晶デバイスの増加が期待されます。また、AIの発展により、高速演算処理が必要となるAIデータセンターの需要が増加し、光トランシーバやエッジAIの普及が見込まれ、通信データ量の増大や通信の安定化が求められるため、高周波デバイスの一種である差動出力発振器の需要がより一層高まります。GPS/GNSSモジュールにおいては、正確な位置情報を取得するためTCXOが必要となります。従来からのドローンやスマートメーター向けに加え、電動バイクのトラッキング向けなど新たな用途に向けさらなる供給が求められています。さらに、衛星通信技術の発展により、業界最大の生産規模を誇る水晶フィルタの需要にも期待しています。

このような背景から水晶デバイスの必要数量は2030年には現在の約2倍に達すると予測されていますが、従来の設計や工法だけでは供給能力が限界に近づくと考えられ、新たな技術革新が求められます。当社ではこれらの需要に対応するため、コアテクノロジーである水晶ウエハの大判化やDX（デジタルトランスフォーメーション）推進、エリア別販売戦略の構築に加え、製品そのものの抜本的な見直しを進めています。その成果の一つが、当社オリジナルの水晶デバイス「Arkhシリーズ」です。

電子部品の小型化ニーズが高まる中、従来設計では様々なハードルがあり、コスト増や生産性の低下を招いています。Arkhシリーズは半導体製造プロセスにも使われているフォトリソグラフィ技術やWLP（ウエハレベルパッケージ）技術を採用しており、セラミックパッケージなど外部からの部材調達や導電性接着剤が不要です。特に、Arkh. 3Gは「小さく、軽いものは安い」という理想を体現した世界最薄の製品であり、最終的にはIC内蔵など、新たな市場の開拓を目指しています。

Arkhシリーズの展開には製品ラインアップの拡充が重要な要素であり、Arkhシリーズの水晶振動子をICとともにセラミックパッケージに内蔵した水晶発振器「Arkh. 2G」を開発しました。Arkh. 2Gは従来品と同等の外観/サイズであるため、お客様にとって抵抗なく使い易い製品であるとともに、従来製品の生産設備を流用することが可能な設計であるため、投資抑制にもつながるコスト面にも優れた製品です。このArkh. 2Gを武器に市場浸透を図り、競争が激化する水晶デバイス市場において、既存製品だけにたよらない製品戦略を推進してまいります。さらに、自動搬送ロボットを導入したフルオート生産の開発を進めており、省人化と製造エリアの効率化など単位面積当たりアウトプットの更なる増大を目指し、最終的には、Arkhシリーズの売上高比率を10%まで引き上げます。既存品においては、高付加価値製品である水晶発振器のシェア拡大に取り組み、第二中期経営計画の最終年度には過去最高売上/利益更新を目指します。

環境面における新たなチャレンジとしてカーボンニュートラルや水素社会の実現に向けた取り組みもスタートしています。CO₂を効率的に回収し、水素を生産できるDAC（直接空気回収技術）システム「KDS-DAC™」構想を2025年4月に発表いたしました。この新たなビジネスモデルを実現するには、パートナー企業との連携が不可欠であり、各分野の知見を持つ企業とコラボレーションを進めていく予定です。

当社はArkhシリーズ中心に安定供給と環境対応を両立させ、企業成長を図ってまいります。

2026年3月期の連結業績見通しにつきましては、売上高41,000百万円、営業利益2,000百万円、経常利益1,000百万円、親会社株主に帰属する当期純利益500百万円を予測しております。なお、想定レートは140円/ドルです。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、引き続き日本基準を採用することとしております。今後のIFRS（国際財務報告基準）の適用については、グローバル展開・内外の情勢等を踏まえながら検討しています。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,539,199	18,707,732
受取手形及び売掛金	9,646,343	9,039,881
契約資産	114,681	30,799
商品及び製品	5,168,581	5,180,147
仕掛品	6,165,762	6,353,313
原材料及び貯蔵品	5,080,355	6,492,699
その他	1,661,378	3,141,882
貸倒引当金	△13,835	△12,081
流動資産合計	52,362,467	48,934,375
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	20,959,555	28,040,197
減価償却累計額	△17,942,809	△18,242,057
建物及び構築物 (純額)	3,016,746	9,798,139
機械装置及び運搬具	61,469,657	61,908,843
減価償却累計額	△49,268,189	△50,173,881
機械装置及び運搬具 (純額)	12,201,468	11,734,961
工具、器具及び備品	7,438,486	7,335,890
減価償却累計額	△6,092,601	△6,088,096
工具、器具及び備品 (純額)	1,345,884	1,247,794
土地	5,964,533	5,962,024
リース資産	992,673	940,238
減価償却累計額	△764,009	△577,668
リース資産 (純額)	228,664	362,570
建設仮勘定	8,830,349	5,787,115
有形固定資産合計	31,587,646	34,892,605
無形固定資産	1,236,891	990,070
投資その他の資産		
投資有価証券	2,925,984	2,759,028
長期貸付金	1,043	899
退職給付に係る資産	1,134,541	1,461,200
繰延税金資産	637,335	531,987
その他	1,206,512	348,327
貸倒引当金	△27,800	△27,800
投資その他の資産合計	5,877,617	5,073,644
固定資産合計	38,702,155	40,956,320
資産合計	91,064,623	89,890,695

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,617,382	3,378,663
短期借入金	2,376,990	8,455,985
1年内返済予定の長期借入金	11,629,640	8,485,282
リース債務	140,194	116,168
未払金	1,684,180	2,056,325
未払法人税等	479,574	473,468
契約負債	79	330
賞与引当金	713,786	710,743
その他	1,070,130	1,197,570
流動負債合計	20,711,960	24,874,535
固定負債		
長期借入金	19,776,032	16,335,798
リース債務	91,911	254,074
繰延税金負債	1,939,636	1,809,276
退職給付に係る負債	1,224,331	1,150,031
長期未払金	65,912	-
資産除去債務	28,304	27,518
その他	178,218	219,466
固定負債合計	23,304,347	19,796,165
負債合計	44,016,308	44,670,701
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,344,883	19,344,883
資本剰余金	7,172,364	5,795,140
利益剰余金	7,473,320	6,185,572
自己株式	△1,930,424	△182,714
株主資本合計	32,060,143	31,142,881
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,257,965	502,670
為替換算調整勘定	4,916,324	4,733,023
退職給付に係る調整累計額	474,136	676,331
その他の包括利益累計額合計	6,648,425	5,912,025
非支配株主持分	8,339,745	8,165,086
純資産合計	47,048,314	45,219,993
負債純資産合計	91,064,623	89,890,695

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年 4月 1日 至 2024年 3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年 4月 1日 至 2025年 3月31日)
売上高	39,343,676	38,620,931
売上原価	29,554,753	29,295,873
売上総利益	9,788,923	9,325,057
販売費及び一般管理費	7,653,642	8,410,034
営業利益	2,135,280	915,023
営業外収益		
受取利息	176,895	222,422
受取配当金	89,823	61,480
為替差益	1,295,672	-
その他	342,786	256,960
営業外収益合計	1,905,178	540,863
営業外費用		
支払利息	294,165	315,538
支払手数料	200,500	116,598
解約違約金	162,000	-
設備移設費用	95,105	-
為替差損	-	348,008
その他	96,510	263,256
営業外費用合計	848,281	1,043,401
経常利益	3,192,178	412,485
特別利益		
固定資産売却益	67,206	16,125
投資有価証券売却益	988,103	1,239,134
受取保険金	-	569,607
特別利益合計	1,055,309	1,824,868
特別損失		
固定資産売却損	57,868	3,048
固定資産除却損	1,317	196
減損損失	65,206	60,310
支払補償費	-	571,104
特別損失合計	124,391	634,660
税金等調整前当期純利益	4,123,095	1,602,693
法人税、住民税及び事業税	671,375	484,567
過年度法人税等	73,418	44,611
法人税等調整額	499,683	102,038
法人税等合計	1,244,477	631,218
当期純利益	2,878,618	971,474
非支配株主に帰属する当期純利益	1,002,473	685,886
親会社株主に帰属する当期純利益	1,876,144	285,588

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年 4月 1日 至 2024年 3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年 4月 1日 至 2025年 3月31日)
当期純利益	2,878,618	971,474
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,446	△1,106,228
為替換算調整勘定	2,123,153	△224,418
退職給付に係る調整額	51,252	211,802
その他の包括利益合計	2,189,852	△1,118,844
包括利益	5,068,470	△147,369
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	3,711,665	△450,811
非支配株主に係る包括利益	1,356,805	303,441

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	19,344,883	7,172,364	6,500,970	△1,929,648	31,088,569
当期変動額					
剰余金の配当			△903,793		△903,793
親会社株主に帰属する当期純利益			1,876,144		1,876,144
自己株式の取得				△776	△776
自己株式の消却					-
在外連結子会社の機能通貨変更に伴う増減					-
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					-
当期変動額合計	-	-	972,350	△776	971,574
当期末残高	19,344,883	7,172,364	7,473,320	△1,930,424	32,060,143

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,069,484	3,318,351	425,069	4,812,905	7,281,144	43,182,619
当期変動額						
剰余金の配当						△903,793
親会社株主に帰属する当期純利益						1,876,144
自己株式の取得						△776
自己株式の消却						-
在外連結子会社の機能通貨変更に伴う増減						-
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	188,480	1,597,973	49,067	1,835,520	1,058,600	2,894,121
当期変動額合計	188,480	1,597,973	49,067	1,835,520	1,058,600	3,865,695
当期末残高	1,257,965	4,916,324	474,136	6,648,425	8,339,745	47,048,314

当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	19,344,883	7,172,364	7,473,320	△1,930,424	32,060,143
当期変動額					
剰余金の配当			△903,764		△903,764
親会社株主に帰属する当期純利益			285,588		285,588
自己株式の取得				△298,945	△298,945
自己株式の消却		△1,377,224	△669,431	2,046,655	-
在外連結子会社の機能通貨変更に伴う増減			△140		△140
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					-
当期変動額合計	-	△1,377,224	△1,287,748	1,747,710	△917,262
当期末残高	19,344,883	5,795,140	6,185,572	△182,714	31,142,881

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,257,965	4,916,324	474,136	6,648,425	8,339,745	47,048,314
当期変動額						
剰余金の配当						△903,764
親会社株主に帰属する当期純利益						285,588
自己株式の取得						△298,945
自己株式の消却						-
在外連結子会社の機能通貨変更に伴う増減						△140
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△755,294	△183,300	202,195	△736,399	△174,659	△911,058
当期変動額合計	△755,294	△183,300	202,195	△736,399	△174,659	△1,828,321
当期末残高	502,670	4,733,023	676,331	5,912,025	8,165,086	45,219,993

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年 4月 1日 至 2024年 3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年 4月 1日 至 2025年 3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	4,123,095	1,602,693
減価償却費	3,941,284	3,986,907
長期前払費用償却額	76,467	76,167
減損損失	65,206	60,310
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3,673	△1,648
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△87,019	△3,046
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△455,807	△326,659
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	380,404	232,944
受取利息及び受取配当金	△266,719	△283,903
支払利息	294,165	315,538
為替差損益 (△は益)	36,421	△75,806
投資有価証券売却損益 (△は益)	△988,103	△1,239,134
有形固定資産売却損益 (△は益)	△9,337	△13,076
有形固定資産除却損	1,317	196
売上債権の増減額 (△は増加)	905,934	452,649
棚卸資産の増減額 (△は増加)	1,689,166	△1,892,176
仕入債務の増減額 (△は減少)	△29,130	982,337
その他	183,490	△1,150,217
小計	9,864,511	2,724,075
利息及び配当金の受取額	266,719	283,903
利息の支払額	△291,571	△311,074
法人税等の支払額	△1,595,834	△400,178
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,243,825	2,296,726
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△179,002	△1,067,418
定期預金の払戻による収入	84,042	1,035,412
有価証券の売却による収入	44,463	—
有形固定資産の取得による支出	△4,498,628	△6,887,869
有形固定資産の売却による収入	143,095	36,643
無形固定資産の取得による支出	△386,449	△32,471
投資有価証券の取得による支出	△10,131	△989,200
投資有価証券の売却による収入	1,061,703	1,527,083
貸付けによる支出	△620	△370
貸付金の回収による収入	1,020	625
その他	△254,250	70,394
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,994,757	△6,307,171

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年 4月 1日 至 2024年 3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年 4月 1日 至 2025年 3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△345,163	6,116,809
長期借入れによる収入	12,880,000	5,380,000
長期借入金の返済による支出	△10,085,961	△11,554,271
リース債務の返済による支出	△210,941	△150,379
配当金の支払額	△901,116	△900,433
非支配株主への配当金の支払額	△231,717	△300,967
自己株式の取得による支出	△776	△298,945
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,104,323	△1,708,187
現金及び現金同等物に係る換算差額	564,488	△134,071
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,917,879	△5,852,703
現金及び現金同等物の期首残高	18,437,258	24,355,138
現金及び現金同等物の期末残高	24,355,138	18,502,435

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更に関する注記）

（「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用）

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を当連結会計年度の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65-2項（2）ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当連結会計年度の期首から適用しております。

なお、当該会計方針の変更による連結財務諸表への影響はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検証を行う対象となっているものであります。

当社グループは、水晶応用電子部品を生産・販売しており、国内においては当社が、海外においては米国、欧州、中国、台湾、アジアの各地域をDAISHINKU(AMERICA)CORP.（米国）、DAISHINKU(DEUTSCHLAND)GmbH（欧州）、大真空（香港）有限公司（中国）、天津大真空有限公司（中国）、加高電子股份有限公司及びその子会社（台湾）、DAISHINKU(SHINGAPORE)PTE. LTD.（アジア）、DAISHINKU(THAILAND)CO., LTD.（アジア）、PT. KDS INDONESIA（アジア）が、それぞれ担当しております。現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社の報告セグメントは生産・販売体制を基礎とした所在地別のセグメントから構成されており、「日本」、「北米」、「欧州」、「中国」、「台湾」及び「アジア」の6つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報並びに収益の分解情報

前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位: 千円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 1
	日本	北米 (注) 3	欧州 (注) 3	中国	台湾	アジア (注) 3	計		
売上高									
外部顧客への 売上高	7,781,320	2,405,202	3,833,725	12,300,895	10,342,263	2,680,269	39,343,676	—	39,343,676
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	21,444,427	49,808	1,224	3,037,458	2,748,482	7,317,234	34,598,637	△34,598,637	—
計	29,225,748	2,455,011	3,834,949	15,338,354	13,090,746	9,997,504	73,942,314	△34,598,637	39,343,676
セグメント利益 又は損失 (△)	116,550	16,904	20,910	△55,266	1,086,041	493,515	1,678,655	456,625	2,135,280
セグメント資産	52,452,147	1,103,557	1,412,156	11,722,743	29,086,839	8,330,420	104,107,864	△13,043,241	91,064,623
その他の項目									
減価償却費	1,218,201	12,794	5,401	181,615	1,269,363	795,127	3,482,503	△20,082	3,462,420
減損損失	13,353	—	—	—	51,852	—	65,206	—	65,206
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	3,205,128	8,143	307	32,596	310,872	94,729	3,651,777	—	3,651,777

(注) 1. 調整額は、以下の通りであります。

- (1) セグメント利益又は損失の調整額456,625千円には、セグメント間取引消去△41,363千円、その他の調整額497,988千円が含まれております。
 - (2) セグメント資産の調整額△13,043,241千円には、セグメント間の債権と債務の相殺消去額△12,669,069千円、その他の調整額△374,171千円が含まれております。
 - (3) 減価償却費の調整額は、主として未実現利益の消去であります。
2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。
 3. 日本、中国、台湾以外の各セグメントに属する主な国又は地域の内訳は次のとおりであります。
 - (1) 北米……………米国
 - (2) 欧州……………ドイツ
 - (3) アジア……………インドネシア、シンガポール、タイ

当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 1
	日本	北米 (注) 3	欧州 (注) 3	中国	台湾	アジア (注) 3	計		
売上高									
外部顧客への 売上高	6,971,172	2,450,263	3,899,816	12,652,201	9,786,778	2,860,698	38,620,931	-	38,620,931
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	22,487,484	52,637	4,366	3,568,732	4,029,525	7,053,300	37,196,047	△37,196,047	-
計	29,458,657	2,502,901	3,904,182	16,220,934	13,816,304	9,913,998	75,816,978	△37,196,047	38,620,931
セグメント利益 又は損失 (△)	△842,757	38,813	31,683	9,261	1,559,979	85,441	882,422	32,601	915,023
セグメント資産	53,509,974	1,087,802	1,380,407	10,988,858	27,529,799	7,426,727	101,923,570	△12,032,875	89,890,695
その他の項目									
減価償却費	1,314,939	18,216	12,226	186,868	1,297,180	797,561	3,626,992	△12,025	3,614,966
減損損失	-	-	-	-	60,310	-	60,310	-	60,310
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	6,189,595	18,394	11,832	30,301	924,439	222,773	7,397,337	-	7,397,337

(注) 1. 調整額は、以下の通りであります。

- (1) セグメント利益又は損失の調整額32,601千円には、セグメント間取引消去16,357千円、その他の調整額16,243千円が含まれております。
 - (2) セグメント資産の調整額△12,032,875千円には、セグメント間の債権と債務の相殺消去額△11,571,832千円、その他の調整額△461,042千円が含まれております。
 - (3) 減価償却費の調整額は、主として未実現利益の消去であります。
2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。
3. 日本、中国、台湾以外の各セグメントに属する主な国又は地域の内訳は次のとおりであります。
- (1) 北米………米国
 - (2) 欧州………ドイツ
 - (3) アジア………インドネシア、シンガポール、タイ

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年 4月 1日 至 2024年 3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年 4月 1日 至 2025年 3月31日)
1株当たり純資産額	1,199.24円	1,166.11円
1株当たり当期純利益金額	58.12円	8.87円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年 4月 1日 至 2024年 3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年 4月 1日 至 2025年 3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	1,876,144	285,588
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額 (千円)	1,876,144	285,588
普通株式の期中平均株式数 (千株)	32,278	32,208

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
純資産の部の合計額 (千円)	47,048,314	45,219,993
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	8,339,745	8,165,086
(うち非支配株主持分) (千円)	(8,339,745)	(8,165,086)
普通株式に係る期末の純資産額 (千円)	38,708,569	37,054,907
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数 (千株)	32,277	31,776

(重要な後発事象)

該当事項はありません。